

報道関係者各位

## 新 VR プログラム提供開始 可搬式作業台使用時の労働災害を体感

2025年3月3日  
株式会社 杉孝

仮設機材レンタル事業を行う株式会社 杉孝（本社：神奈川県横浜市 代表取締役社長：杉山 亮）は、3月3日(月)より新しいVR教育コンテンツ「可搬式作業台 不安全行動の体感」の提供を開始します。

SUGIKOは2018年よりVR技術を活用した3つの研修コンテンツを開発・提供してきました。この度は、設備機材を扱う業種のお客様からの需要が高まっていることや可搬式作業台使用時の事故が頻発していること等を受け、可搬式作業台使用時に起こる労働災害を体感できる教育コンテンツを新たに開発しました。体感できる労働災害は、お客様の現場で実際に起こった災害や書籍※1を参考し、具体的で臨場感のある内容となっています。

当コンテンツの最大の特徴は、仮想世界での受講者自身の操作によって結果が変わる「分岐技術」を採用している点です。例えば、道具箱を持ったまま作業台に昇る不安全な行動をすると落下災害を体感することになり、道具箱をもたずに両手で手すりを掴んだ状態で作業台に昇ると災害が起きない等、4種類の作業行動とそれに紐づく13の異なる結果を学習できます。自身の行動によって労働災害が起きる、もしくは回避できる条件下で受講者が適切な対処方法を考えて行動することにより、記憶の定着が期待されます。さらに、災害体感後には、第三者視点で事故現場を映像として振り返りなぜ労働災害が起きたのか復習できる機能も追加しました。なお、当コンテンツはNETIS※2登録へ向け、申請予定です。

SUGIKOはこれからも、XR※3コンテンツを活用した教育プログラムを運用し、建設現場で働く様々な業種・職種の皆様の安全をサポートしていきます。

※1…建設業労働災害防止協会・中央労働災害防止協会、仮設工業会等の機関紙を参考

※2…国土交通省が運用する、新技术を活用するために情報の共有及び提供を目的としたデータベース

※3…「VR」「MR」「メタバース」等の技術の総称。現実世界と仮想世界とを融合させ現実ではできない体験が可能

### 【コンテンツ概要】

名称：可搬式作業台 不安全行動の体感

受講時間：半日程度（調整可能）

使用デバイス：Meta Quest 3

実施方法：SUGIKO の専門部署の社員がお客様のご指定の場所に VR ゴーグル等必要機材  
をお持ちし、解説を行いながら実施

災害事例内容：・天板上で足の踏み外しによる災害

- ・降りる時の災害
- ・作業台間移動時の災害
- ・作業台の高さ不足から起こる災害

4 種類、合計 13 パターンへ分岐

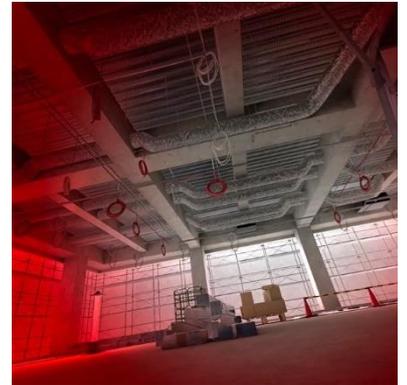
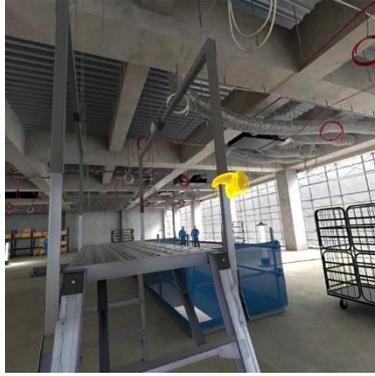
【受講者目線 イメージ】

①不安全行動による災害が発生するパターン

左手（黄色部分）で工具箱を持つ

右手（黄色部分）で手がかり棒を掴んで昇る

不安全行動（片手昇降）をしたため  
墜落災害を体感

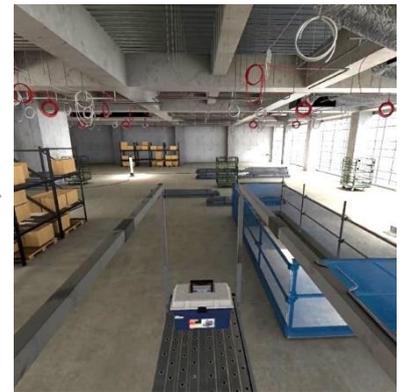
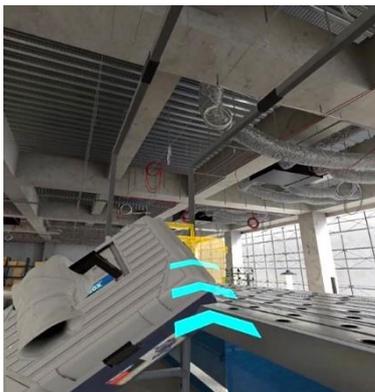


②正しい作業手順によって災害をふせぐパターン

工具箱を作業台の上に置く

両手（黄色部分）で手がかり棒を掴んで昇る

不安全行動を避けたため  
無事に昇れた



\*\*\*\*\*

(このプレスリリースに関するお問い合わせ)

株式会社杉孝 総務課 広報担当：福家（ふけ）・豊田（とよた） [TEL:045-444-0835](tel:045-444-0835)